

平成 25 年度財務状況

学校法人は、昭和 46 年 4 月 1 日付文部省令第 18 号「学校法人会計基準」に則して会計処理を行い、決算時には会計処理結果を表す、財務計算に関する書類「計算書類」を作成しなければなりません。この「計算書類」は一般企業の決算書に相当し、資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表の 3 表で構成されます。

学校法人行吉学園の平成 25 年度計算書類（決算書）は、監事の監査を経て、平成 26 年 5 月 23 日の理事会で承認され、つづく評議員会へ報告され了承されました。また、独立監査人である監査法人からこの計算書類は適正であるとの監査報告をうけています。

【平成 25 年度決算概要について】

平成 25 年度財務の基本方針は、各種経費の緊縮を継続的に行いつつ、消費税率の引き上げを見据え、資産及び経費の計画的執行など、より適切な事業運営に努めるとともに、学生サービスの改善・充実に係る施設・設備の改修を行いました。また、平成 25 年度決算は、全学的施策として決定した神戸女子大学看護学部への設置に向けた準備に取り組んだ結果、設置準備費用の増加などの負担増があるものの、前年度並みの収支状況を確認することができました。

なお、平成 25 年度をもって借入金完済したことにより、今後の借入金等利息支出はなくなることとなります。

- (1) 学園全体の収容定員を上回る学生を確保し、学生数が安定して推移したことから、学納金収入は、前年度比 13 百万円増加の 4,937 百万円になりましたが、帰属収入全体では、預金金利の低迷による資産運用収入の減少や事業収入の減額などの影響から、予算を 22 百万円下回る 5,992 百万円となりました。
- (2) 消費支出では、退職金等による人件費の増加、新学部設立に伴う経費負担などの増加により、予算を 38 百万円上回る 5,775 百万円となりました。
- (3) 単年度の経営指標である帰属収支差額は、217 百万円の収入超過となりました。尚、消費収支差額については、新学部設置に伴う学舎建設に伴う基本金組入額の影響により支出超過となっています。
- (4) 学生サービスや教育環境の改善に係わる施設・設備関係の充実では、年次計画に基づく須磨・ポートアイランド両キャンパスのトイレ（洋式化）改修工事や須磨キャンパスでの学習支援センター設置に伴う改装工事、三宮キャンパス・古典芸能研究センターの整備、各キャンパスの教室内に設置する情報機器の更新等を行っています。

【掲載する計算書類等】

- ・ 資金収支計算書（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）
- ・ 消費収支計算書（平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで）
- ・ 貸借対照表（平成 26 年 3 月 31 日）
- ・ 財産目録
- ・ 監査報告書